

(別紙3)

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	カルティボファースト		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 28日		～ 2024年 11月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2024年 10月 28日		～ 2024年 11月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にしている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもの心身や発達状況の様子に対して、保護者様との共通理解、連携が取れている。	・モニタリング時期だけではなく、日ごろから気になる様子があれば保護者様に連絡し、ご自宅や園での様子も聞かせていただいている。子どもを取り巻く状況に合わせ今必要な対応を考え、その時々に応じた子どもへの関わり方を職員間で共有している。	・引き続き子どもの心身の状態や変化に気を付けながら支援を行い、気になる点がある際には伝えるようにしていく。保育園にお迎えに行き、帰りもまた保育園へお送りするお子さまの場合、保護者様とお話をする機会がなかなか持てないのでこまめにLINE等でご様子を聞く機会を持つよう気を付ける。
2	・個別支援計画書を作る際には、保護者様の要望を丁寧に聞き取り、専門支援員と連携を取りながら本人の成長を促せる目標を立てている。障害受容が進んでいない保護者様の心の面のサポートにも時間を割いている。	・子どもが所属している園と連携を取り、本人の姿を総合的に捉え、個別支援計画書に反映させるようにしている。本人に合った環境での就学をサポートできるよう、情報提供をしたり園や就学予定の学校とも連携を取ったりしている。	・現在の園や学校での支援体制がどのようなものか、保護者の方々にご案内できるよう、情報収集をする機会を持っていく。
3	・様々な種類のプログラムを実施している。	・プログラムは曜日ごとの固定はせず、様々な体験や経験を積むことができるように工夫している。またプログラム名が同じものでも内容は毎月変更するようにしている。 ・幅広い年齢層の子どもそれぞれの発達段階に合わせたプログラムを考え、どの子どもたちの発達も促せるよう工夫している。	・同法人内の事業所との合同プログラムを実施する機会を増やし、固定化された友だちとの関わりだけでなく、幅広い年代や新しいお友だちとの関わりを持てるように工夫をする。 ・保護者様からの意見を募り、要望に合わせた新規プログラムの作成を実施していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の具体的な説明や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていなかった。	・個別支援計画書のモニタリング時に悩み等の相談がある場合にはペアレントトレーニングとしての考え方や支援方法の提案を行っていたが、「ペアレントトレーニング」という言葉は使用していなかった為、わかりにくさがあった。 ・研修会等の開催はしておらず、情報提供は稀にしていた程度になってしまっていた。	・相談等があった場合にはペアレントトレーニングとしての考え方や支援方法をお伝えすると共に、時間や状況を考えながら研修会等の開催を検討する。また保護者様が参加できるような外部の研修会など情報を探し、積極的に発信を行う。
2	・保護者会、保護者同士の交流の機会、きょうだい向けのイベント等が開催されておらず、閉鎖的になってしまっていた。	・保護者会等は時間的、業務的な問題があり、開催することができていなかった。季節に合わせたイベント(クリスマス会等)は事業所内では実施していたものの、指導員の配置状況から参加できる形では行っていなかった。	・保護者会等は児童が登所していない時間帯を使い、開催を検討していく。
3	・十分にミーティングを行える時間を確保することが難しい日があり、スタッフ全体での共有事項などを話し合う時間が少なかった。	・午前、午後とも受け入れがある日は送迎に出るスタッフもいるため時間を取ることが難しかった。	・来年度は療育時間の見直しをすることもあり、ミーティングの時間を今以上に設けることができる。そのため日々のプログラムについてや個別支援計画についての協議など、よりスタッフ全員で話し合える時間を確保できる予定である。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 カルティポファースト

公表日 2025年 1月 10日

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	0	0	1	・のびのび活動できています。・小人数ですし十分だと思います。	・定員10名に対して十分なスペースを確保しており、運動プログラムも問題なく行っている。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	17	0	0	4	・のびのび活動できています。・一人一人についてよく見てもらえてると思います。	保育士、児童指導員と経験豊富な職員を配置している。専門的支援員として臨床心理士、2024年12月からは作業療法士を常勤配置している。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	0	0	4	のびのび活動できています。	視覚位置の児童にわかりやすくイラストで一日の流れを説明したり、やってはいけないことを知らせたりして効果を上げている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	20	0	0	1	・のびのび活動できています。・とてもキレイで子どもでも使いやすいくわくわくするような空間で子どもも気に入っています。	清潔は毎日行っており、子どもの入れ替え時には使用した物を消毒するようにしている。スタッフ、子ども達が外から室内に入ってきた時は、除菌手洗い、うがいをしっかりとるように指導している。ペーパータオルの使用、アルコール消毒の徹底を行っている。換気も定期的に行っている。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	1	0	0	いつも本人の様子を見て色々な配慮をしてくださっています。・子どものことをよく理解していただいていると感じています。・日々よく見てもらって対応してもらえてると思います。	事業所として「専門性」は長年、子どもと関わってきている指導員の考えや支援方法を指すと考えている。支援に関しては定期的にMTGを行い、前回の様子や今の状況、個別支援計画の内容を確認し、適切な支援を実施できるようにしている。また臨床心理士・作業療法士を配置しており、より専門的な支援を公表しているプログラムと実施プログラムは合わせているようにしている。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21	0	0	0	本人の発達に合わせて、短期/長期のアドバイスをくださっています。	本人の発達に合わせて、短期/長期のアドバイスをくださっています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画や放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20	1	0	0	本人の発達に合わせて、短期/長期のアドバイスをくださっています。	・利用日の様子を記録をしスタッフの意見を取り入れ保護者の方と面談（モニタリング）をしてから支援計画を作成している。支援の結果から評価表も作成し、保護者様に説明をするようにしている。・今後も、引き続き取り組む。
	8 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	0	0	3	本人の発達に合わせて、短期/長期のアドバイスをくださっています。	個別支援計画書はガイドラインに合わせ、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」の記載を行っている。支援目標はモニタリングの上、児童が作成した内容を元に指導員を含めて話し合いを行い決定している。支援内容は誰が見ても理解できる内容になるよう工夫をしている。
	9 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）に沿った支援が行われていると思いますか。	21	0	0	0	本人の発達に合わせて、短期/長期のアドバイスをくださっています。	個別支援計画書の内容を子ども達が覚える前に再確認し、適切な支援が行われているか児童管、指導員が常に意見を交換し、最適な支援の実施ができるようにしている。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	0	0	1	色々な活動をできています。・毎日プログラムが違うので子どもも楽しそうです。・毎回工夫してもらえてると思います。	活動プログラムは指導員間で話し合い、見直し、マンネリ化しないように新しいアイデアを提案できる体制を取っている。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	8	2	2	9	・特に求めない。・色々なお友だちと一緒に過ごしています。・系列のデイサービスとの交流があるみたいだがまだ入ったことがないので分からない。	現在はお買い物体験を実施し、事業所以外の人の関わりを持つことが出来るようにしている。今後機会があれば地域の活動に参加していきたいとする。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21	0	0	0	・いただきました。・親がやるべきことをすぐに調べて報告してくれた。	運営規程、支援プログラム、利用者負担等についてはご契約時に丁寧に説明をするよう心掛けています。またプログラムの実費負担については毎月の予定用やお便りを通して事前に知らせている。
	13 「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21	0	0	0	いただきました。	支援計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明を心がけており、内容の変更があれば随時行っている。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	5	2	8	・今年からは案内が多かったです。・個別の情報提供は都度教えていただいています。ペアレントや研修会も興味があります。	保護者様から相談依頼があった際には時間を設け、個別に対応している。その際にはご自宅でお出する事、声のかけ方等をお伝えし、家庭でも出来る支援の方法、考えをお話している。2025年度からは専門的個別支援において保護者も参加できるように体制を整える予定としている。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	19	2	0	0	ちょっとした変化にもすぐに気づいて伝えてくださいます。	子どもの発達の状況や課題は、日頃から保護者との共通理解をもつために連絡帳、電話、メール、LINE、送迎時を通して徹底している。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	6	0	1	ちょっとした変化にもすぐに気づいて伝えてくださいます。	モニタリング時に必要があれば実施している。また希望があれば日時を設定し、対応している。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21	0	0	0	・ちょっとした変化にもすぐに気づいて伝えてくださいます。・息子の様子などから細かく支援してくれたり、話を聞いてくれる。・どの職員の方も優しく寄り添っていただいています。	保護者の思い、また子どもの様子や状況を見て、今はどうすることがよいかを考えて支援をしている。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	3	6	10	ご紹介してくださって参加できる分からない現状です。	本年度は実施できなかったが2025年度は茶話会等を通して保護者同士の交流の機会を設けるようにしたいと考えている。
	19 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	0	0	4	・どちらかというと（申し入れできるほどの考えがなく）提案をしていただいています。・柔軟にいつも対応していただいています。幼稚園とも連携とって頂いて心強く思っています。	保護者からの子育て悩みに対する相談へは適切に対応できるよう心掛けており、必要な量はスタッフと情報共有を行っている。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	1	0	1	いつもお会いした時、連絡ファイルで様子を教えてください。	基本は連絡帳でのお知らせになるが、即時知らせるべき事柄は送迎時に情報を共有して意志の疎通を図るようになっている。また電話、メールやLINEのチェックを日々行うようになっている。
21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	18	1	1	1	いつもお会いした時、連絡ファイルで様子を教えてください。	毎月の会報はLINEまたは用紙で行い、活動概要や行事予定、連絡体制等はメールやLINE、電話、訪問時で的確に情報発信できるようにしている。今後はSNSを用い、活動内容をよりイメージできるように発信していく。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	0	0	0	安心しています。	個人情報保護法については定期的に研修を行い、日々の業務、仕事以外での個人情報の保護に職員間意識を徹底している。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	1	0	1	訓練についてはわかりません。本人は多分、有事の雰囲気は分からないと思います。	各マニュアルを策定しファイリングして職員が閲覧できるようにしている。保護者の方にはご希望があれば閲覧できる環境を整えている。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	1	0	2	・訓練についてはわかりません。本人は多分、有事の雰囲気が分からないと思います。・事前に避難場所の教えはあった。訓練はしていると思うがまだやったことはない。	消防署の行っている救命救急の研修には年1回参加している。また避難訓練は火災、防災等を年に2回以上行っている。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	0	0	2	書籍でもいただきました。	プログラムを実施する際には必要な机等は片付け、怪我等に繋がらないよう留意している。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	1	0	2	日中に連絡を受け取れない状況なので、園にも伝えてくださり助かります。・少しの事でも必ず報告有。	頭部を打った場合や事故、大けがの場合は保護者様にすぐに電話を行い、伝える体制を整えている。また経緯については送迎時に経緯と怪我等の具合を説明する体制としている。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20	1	0	0	・場所見知りも人見知りもないと思います。・カルテイボに行けるから幼稚園にも頑張っていると言っていました。	子どもが安心感を持てるように笑顔を心がけて指導員全員が関わるようにしている。子どもの意見は出来る限り否定せず、ゆっくりと話をしながら納得してもらえよう対応している。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20	1	0	0	・帰ったあと、歌など口ずさんでおります。・毎回、前日から楽しみにしています。	プログラムにより好き嫌いがあるかもしれないが、指導員と一緒に参加し、みんなで楽しめるよう工夫をしている。また子ども達から楽しかったプログラムを聞いて、予定に反映するようにしている。
	29	事業所の支援に満足していますか。	20	1	0	0	・いつも大変感謝しております。楽しく通わせていただいています。・いつもありがとうございます。・集団生活に不安があったが、先生たちの共通指導のおかげで負担なく行けている。・いつも安心して通わせていただいています。通い始めてから本人もよく成長しているように思います。・大変満足しています。	引き続き皆さまに満足してご利用していただけるよう、日々話し合いやPDCAサイクルの実施をおこなっている。スキルアップしていくことができるようにしている。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		カルティボファースト				公表日	2025 年 1月 10日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	・普段は問題ないが、活動内容によっては手狭になってしまいうため、チームで分けて活動したり空間を分けて環境を整えたりしている。	・特になし。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	2	・基準配置は守りつつ、お子様二人に対して少なくとも指導員が一人付くように配置している。 ・指導員同士の声掛けにより、安全を確保している。	・お子様の状況により、一対一で付かないといけない場合があり、指導員が不足する時間帯がある。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	・視覚優位の児童に分かりやすくイラストで一日の流れを説明したり、やってはいけないことを知らせようとしている。 ・相談室や事務室には季節に応じた必要事項の張り出しを行い、注意喚起を行っている。	・特になし。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・毎日する掃除をリスト化し、どの職員でも同じように清掃できるように工夫している。 ・掃除を引き継ぎしやすいよう、チェックリストを作成している。	・特になし。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	・落ち着いて過ごしたい子がいる場合、相談室を使える部屋として用意している。	・特になし。			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	・ミーティングを行い、PDCAサイクルを元に話し合いができるようにしている。2025年度からは更に週に一度十分に時間を取って全体ミーティングを行う計画としている。	・特になし。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・保護者様向けの評価表を配布し、広く意見を求めている。意見の記載があった場合、話し合いを行い業務改善に繋げている。	・特になし。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・半年に一回、代表面談を実施し、指導員の意見を聞き、業務改善につなげている。 ・日ごろから意見交換しやすい雰囲気を作り、意見があるたび改善策を考えている。	・特になし。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	1	・第三者評価は現在行ってないが、保護者様のご意見を聞きつつ、必要があれば設置していく。	・特になし。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	・内部研修を定期的に行うとともに、外部の研修についても告知し研修できる体制を整えている。	・特になし。			
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	・専門職の視点を取り入れ、より適切な支援プログラムを実施している。	・特になし。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成しているか。	5	0	・利用日のお子様様の様子を記録し、スタッフの意見を取り入れ保護者の方と面談（モニタリング）をしてから支援計画書を作成している。	・特になし。			
	13	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・個別支援計画書作成にあたり、ミーティングを実施しているが、参加できない指導員に対しては個別に話を伺うようにしている。	・全ての職員が意見を出せる場を設けられるのが理想だが、なかなか機会を持っていない。（一部職員になっている。）			
	14	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・今年度は午前の受け入れがある日は昼礼時間を十分に取ることができなかったが、2025年度は受入れ時間の変更により十分に昼礼時間を確保できるように計画している。 ・個別支援計画書の内容を昼礼で再確認し適切な支援を実施している。また児発管、指導員が常に意見を交換している。 ・引き続き、子ども達の成長を注意深く観察していく。	・もう少し共有できる時間を持ちたい。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	・子どもの社会性の発達状況は、標準化されたツールの項目を参考にしてアセスメントを行っている。個別でのやり取りで理解度を評価したり、子ども同士のやり取りから人間関係のあり方を観察している。子どもの能力や生活スキルについては、発達評価スケール等を用いて領域ごとに整理するよう努めている。	・特になし。			
	16	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	・モニタリングを通して保護者様からの希望と事業所側の考えを伝え、支援計画書を作成している。また「本人支援」「家族支援」「移行支援」を踏まえた5領域を踏まえた個別支援計画書の作成に努めている。	・特になし。			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
な支援の提供	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	・担当職員間で話し合い、活動プログラムの立案している。 ・スタッフからの意見や利用者の現在の興味を取り入れて個別対応やチーム全体でできる楽しく参加できる活動プログラムを立案している。	・特になし。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	・活動プログラムは常に見直し、マンネリ化しないよう新しいアイデアを提案できる体制を取っている。 ・利用する曜日によってプログラムが偏らないよう、どの曜日も様々なプログラムに参加できるよう工夫している。	・特になし。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	5	0	・子どもの状況に合わせながら個別プログラムを実施しつつ、集団活動を行っている。また発達状況を常に見極め記録し、個別と集団活動とその記録をスタッフミーティングで検討し個別支援計画書の作成を行っている。	・特になし。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1	4	・朝礼、昼礼に十分に時間が取れる日には、当日利用予定の子どもの個別支援計画書の内容を確認し、それぞれの目標にあった支援が実施出来るようにしている。 ・2025年度は受入れ時間の変更により十分に昼礼時間を確保できるように計画している。	・日によります。時間的余裕がない日が多いです。 ・今年度は午前の受け入れがある日は昼礼時間を十分に取ることができなかった。 ・毎回打ち合わせの時間を取っているわけではない。 ・日によってできる日とそうでない日がある。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	・就業時間の関係から支援終了後の打ち合わせは難しい為、業務日誌内に気づいた事を記載する欄を設けている。 ・その日のうちに共有しておかばならない重要事項については必ず引継ぎを行うようにしている。	・当日は時間を取れていない。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	1	・業務日誌に記録を行う欄に特筆すべき出来事を記載している。受け入れ前のミーティングで直近の出来事を話し合い、支援内容の検証、改善を常に行っている。	・特になし。
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	・定期的なモニタリングは最低6か月に1回行っているが、支援内容の変更がある場合には保護者様の意見を聞きつつ、随時見直しを行っている。	・特になし。
	24 <u>【放デイのみ】</u> 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	1	0	・現在放デイの利用者がいない。	
	25 <u>【放デイのみ】</u> こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	1	0	・現在放デイの利用者がいない。	
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	・会議はほとんど実施できていないが、相談支援事業所のサービス担当者様と電話や面談にて情報の共有をおこなっている。その際は児発官や担当指導員が参加するようにしている。	・相談支援事業所との調整が合わず、サービス担当者会議が会議を開くことが難しい。
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	・保護者様からの要望があった際や、こちらが必要と感じた際は各機関と速やかに連携を行っている。	・特になし。
	28 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	1	・必要に応じて連携を行っていく。	・現在児童発達支援センターとの連携は行っていない。
	29 保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	3	・地域のイベント等に参加し、事業所以外の人との関わりを持つ機会を設けている。 ・今後必要に応じて実施していく。	・個人情報の観点から、難しいことが多い。
	30 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	・子どもの発達の状況や課題は、日頃から保護者様との共通理解をもつために連絡帳、電話、メール、送迎時を通して行っている。 ・今後も保護者の方への連絡、報告など共通理解を得るため、徹底する。	・保育園に送るお子様等、ご利用日に直接保護者様とお話することができない場合がある。
	31 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	1	・保護者様から相談依頼があった際には時間を設け、個別に対応している。その際にはご自宅で出来る事、声のかけ方等をお伝えし、家庭でも出来る支援の方法、考え方を話ししている。・来年度は保護者も参加できる個別の専門的支援を行う予定としている。	・今年度は出来ていない。
	32 <u>【児発事業所・児発センターのみ】</u> 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	・保護者様からの依頼があれば実施している。	・特になし。
	33 <u>【児発事業所・児発センターのみ】</u> 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	・保護者様からの依頼があれば実施している。 ・直接のやり取りはあまりないが、サポートブックの作成を保護者様に提案させていただき一緒に作成するようにしている。	・特になし。
	34 <u>【児発センターのみ】</u> 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	3	0		
35 <u>【児発センターのみ】</u> 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。	0	0			
36 <u>【児発センターのみ】</u> (自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	0	0			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	37 【放デイのみ】 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	0	0	・現在放デイの利用者がいない。	
	38 【放デイのみ】 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	0	・現在放デイの利用者がいない。	
	39 【放デイのみ】 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	0	・現在放デイの利用者がいない。	
	40 【放デイのみ】 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	0	・現在放デイの利用者がいない。	
保護者への説明等	41 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	・保護者に対して支援内容と利用者負担については見学、モニタリング、重要事項説明時、契約書締結時に丁寧な説明を行っている。 ・ご利用者の実費負担については毎月の手紙で連絡している。	・特になし。
	42 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	・モニタリング時に必ず保護者様の意見を伺うとともに、こちらから見たこどもの最善の利益とのズレがあった際は保護者様の理解が進むようお話をしている。	・特になし。
	43 「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0	・個別支援計画書が出来上がった際には発音官が保護者様に説明するようにしている。	・特になし。
	44 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・定期的な面談はしていないが、要望があったときは実施している。また個別支援計画書更新時のモニタリングにて話を聞かせていただき、助言するようにしている。	・定期的な面談は実施していない。
	45 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	3	・本年度は実施できなかったが2025年度は茶話会等を通して保護者同士の交流の機会を設けるようにしたいと考えている。	・本年度は実施できなかった。
	46 こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・契約時に苦情・要望の受付窓口について説明している。 ・申し入れがあった際には迅速に対応している。	・特になし。
	47 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	・毎月の会報はLINEまたは用紙で行い、活動概要や行事予定、連絡体制等はLINE、電話、訪問時で的確に情報発信できるようにしている。 また今年度はあまりできなかったが、SNSを用い、活動内容をよりイメージできるように準備はしている。	・特になし。
	48 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・個人情報取り扱いについては年1回必ず研修を行っている。 ・連絡帳に載せる写真に他の利用者様の情報が映り込まないよう、個人情報がかかっているものを隠すようにしている。	・特になし。
	49 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・絵カードを用い、子どもが意思表示しやすい状況を作っている。 ・保護者様に対しては電話連絡だけでなく、メールやLINEを使用しながら文章でもお伝えするようにしている。	・特になし。
	50 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	3	・機会があれば検討していく。	・個人情報の観点から、現状は行っていない。
51 【放デイのみ】 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	0	0	・現在放デイの利用者がいない。		
非常時等の対応	52 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	・各マニュアルを策定しファイリングして職員が閲覧できるようにしている。また定期的な研修を実施し、変更点等あれば随時見直しを行っている。 ・保護者の方にはご希望があれば閲覧できる環境を整えている。	・特になし。
	53 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	・消防署に依頼し、救命救急の研修を実施している。また避難訓練は火災、地震、水害を想定したものを定期的に行っている。 ・実施した訓練についてはお手紙等でお知らせしていく。	・特になし。
	54 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	・契約時のフェイスシートにてお子さまの状況を確認している。 ・お迎え時、保護者様に会うことができる場合は体調等を伺うようにしている。	・特になし。
	55 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	・現在のところ、食物アレルギーで配慮を必要とするお子さまは利用していないが、今後とも契約時に状況を確認し、職員間で共有を徹底する。	・特になし。
	56 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	・より安全に療育を行うために要領書を整備、周知している。 ・療育中、必ずドアは施錠している。 ・外出等、通常の療育と違う動きがある場合には事前に職員の配置検討や子どもへの説明を行っている。	・特になし。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
対応	57 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0	・リスクが考えられる場面ではその都度保護者様に説明を行い、対応方法について話し合いを行っている。	・安全計画に基づく取組内容については保護者様等には積極的に周知できていない。
	58 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	・何かあった際には個人ファイルや業務日誌に記載し、回覧や声掛けを実施している。 ・ヒヤリハットへの記載を確実に実施していく。	・ヒヤリハットとして記録に残せていないことがある。
	59 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	・月始めに虐待防止委員会、身体拘束防止委員会を開催し、虐待や身体拘束の有無、それに連なる事項について話し合いを行っている。 ・全事業所合同で委員会を開催しており、情報の共有を行うとともに、意識を高めるようにしている。	・特になし。
	60 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	・現状身体拘束をしていない。気になる点があった際には保護者様と相談し、身体拘束をしないでも解決できる方法を模索している。 ・身体拘束には当たらないが、安全を考慮するための行動の制止について同意書を作成し、保護者様の了承を得ている。	・特になし。